

失敗から学ぶ、これからの工場運営と生産管理の進め方

攻撃型生産管理TPiCS-Ver.4.0とスケジューラAsprovaとの連携による工程管理の改善で生き残り策

生産管理システムを導入する中堅・中小企業は増えてきたものの、導入してもうまく運用できず、期待した成果が得られていないと言われている企業が少なくありません。

経営トップが明確な運営方針を持ち、システム運用に向けての人材育成を徹底することが成功のカギを握ると考えます。

本セミナーでは攻撃型生産管理TPiCSとスケジューラAsprovaの連携による導入で培ってきた経験をもとに、生産管理人材の育成と生産管理システムの導入の成功事例についてご紹介いたします。

開催概要

- 開催日 2016年10月13日(木)13:30～16:30 (13:15受付開始)
- 開催会場 大阪市総合生涯学習センター
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500
大阪駅前第2ビル 5階 第6研修室
TEL:06-6345-5000
JR東西線(北新地駅すぐ)
当館には駐車場なし(近くのパーク利用)



プログラム

時間	内容	講演者
13:15～13:30 13:30～15:15	<p>受付</p> <p>■失敗から学ぶ、これからの工場運営と生産管理の進め方</p> <p>①このところ海外リスクから大手製造業の国内回帰の動きが加速してきている。 しかし、その受け皿となる工場運営・生産管理人材が大手・中小企業とも決定的に不足している。早期にそうした人材を育成することが死活問題となってきた。</p> <p>②つまり、製造業の次世代マネジメントの育成、それは、自ら観察し考え、判断し実践できる真のベテランを育てることである。</p> <p>③日本企業は今一度、現場での地道なモノづくりに立ち返って、現状の企業活動・プロセス全般の総点検、新たな仕組みづくり、人づくりを目指すべき時に来ている。</p>	株式会社システムユニ 代表取締役 岡田 敏明 (愛媛大学工学部講師)
15:30～16:15	<p>■攻撃型生産管理(TPiCS=ティーピクス)の事例紹介</p> <p>攻撃型とは自社の生産プロセスを見直し、常に新たな仕組みづくりにチャレンジし続けること。これまで自動車部品、電機、金属・機械加工・食品・アパレル医療関連等の業界を含め約60社の導入支援を行い確実に立ち上げてきた。</p> <p>①自社の業務に耐えられる生産管理システムの選定とTPiCSの機能 ②自社のプロセスを熟知した人材の育成 ③短期で確実な運用につながる導入・運用支援</p> <p>■国内導入実績No.1スケジューラAsprova APSのご紹介</p> <p>需要の増減に追従した負荷計画や着手順計画を狙ったサイクルで作成するにはとてつもない労力を要します。しかし、この計画業務の精度が売上や利益にも大きく影響します。生産スケジューラ「Asprova ASP」を活用することで計画業務の省力化、生産量アップ、在庫削減などの効果を挙げた事例を交え、製品紹介を行います。</p>	
16:15～17:00	■質疑応答・個別相談	

TPiCS導入実績 1,830社 (2016.8)
Asprova市場シェア 58.4% (2016.8)

セミナーのお申し込みは、

アスプローバ(株)のホームページ

http://www.asprova.com/jp/seminar_jp/eventlist.html

(株)システムユニホームページ

<http://www.systemuni.com>

の本セミナーの「申込」ボタンからお申し込ください。下記、お問合せ先にて、お申し込み受付しております。

下記にて本セミナーの問い合わせ、お申し込みを受け付けております。

株式会社 システムユニ 久岡 (hisaoka@systemuni.com) TEL:06-6946-7001 FAX:06-6946-7005

申込票



株式会社 システムユニ
久岡 美弘

06-6946-7005



hisaoka@systemuni.com

貴社名	TEL	FAX
ご芳名	E-mail	